

つのステップについて検討し、質問に教えてください。従業員とも話し合ってください。

ステップ1 安全衛生方針の作成

Set your policy

傷害や疾病を生じる原因が、資産の損失や生産の中断にもつながるのは、よくあることです。このため、あなたはあらゆる原因について、災害や事故の防止に務めることが必要です。

そのためには、危険有害要因を特定し、リスクアセスメントを行い、必要な除去・低減対策の決定と実施、実施状況の確認、従業員の防護、品質改善、プラントと生産の安全を守ることなどが必要となります。

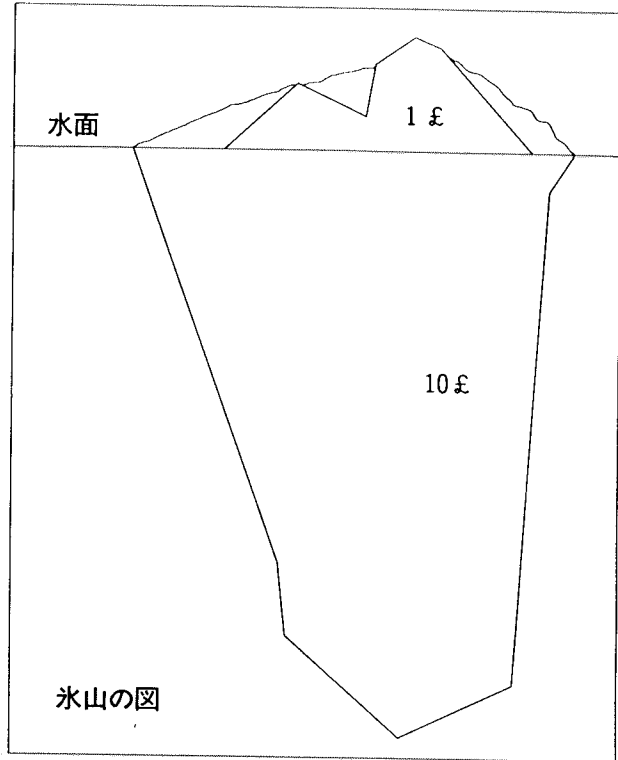
あなたの安全衛生方針は、従業員の配置、設備・材料の選択を含むあらゆる事業活動に適用され、作業内容、製品やサービスを計画し、提供する方向を示さなければなりません。

あなたの安全衛生方針を述べた文書とそれを実施し、モニタリングする組織体制では、あなたの従業員の誰に対しても、危険有害要因の特定とリスクアセスメントがされ、リスクの除去・低減がなされるべきことが明らかでなければなりません。

あなたならどう答えますか：~~~~~

1. 安全衛生方針をはっきりと立てていますか。
それは、書面にしてありますか？
2. あなたは安全衛生について、この一年間にな
にをしてきましたか？
3. 安全衛生のために、あなたはどのくらいお金

注：危険有害要因（hazard）とは、損害（harm）を引き起こす可能性のあるものです。損害の程度はさまざまで、死亡や重大な疾病、傷害を生ずるものから、切り傷や打撲を引き起こす程度のものまでがあります。リスク（risk）とは、それによる損害の大きさと起こる可能性の組合せです。



保険でカバーされた損失£ 1 に対し、カバーされない損失は£ 10に達します。

HSE の調査によると、保険でカバーされない費用は、カバーされる費用より、はるかに高額です。

広範囲にわたる調査の結果、日常の事故による損害について、保険でカバーされなかった金額は、カバーされた金額の2倍から36倍で、平均はおよそ10倍でした。

このように、事故による損失は、保険でカバーされない大きな部分が、氷山の水面下の部分のように隠されているのです。

- を使いましたか。その金額に見合う成果は、ありましたか？
4. 安全衛生マネジメントが十分でなかったために生じた損失は、どの程度の金額ですか？
5. あなたの安全衛生方針には、実際に仕事のやり方を変えたり、災害や事故による損失を防いだ効果がありましたか？

ありのままに答えてください！

ステップ2：安全衛生の組織を明確にする

Organise your staff

あなたの安全衛生方針が効果を挙げるためには、従業員が一体となって、実行することが必要です。

相互協力

- ## コミュニケーション

- あなたならどう答えますか：~~~~~

- ### ステップ3：安全衛生計画の作成と基準の設定

計画の作成については、つぎの前提が必要です。

- ## 基準についての3つのキーワード

基準については、：

- ことが必要です。

— 59 —

ているかどうか、あなたはどうやって把握していますか？

あなたの事業場のリスク除去・低減対策は、それで十分でしょうか？

3. あなたの事業場で適用される安全衛生の法律を守っているかどうか、あなたはどうやって把握していますか？

4. あなたの事業場の事故原因調査では、根底にあるすべての原因を調べていますか？ まちがいをした本人からの聞き取りだけに終わっていませんか？

5. あなたの事業場では、傷害、疾病、事故による損失の正確な記録を作っていますか？

ステップ5：実績から学ぶ—監査と見直し Learn from experience-audit and review

モニタリングとは、活動の状況をチェックして、

達成の程度を向上させるためにどうするか決定に必要な情報を得るためのものです。

監査とは、あなたの従業員または部外者によって、安全衛生方針と組織体制が実際に正しい成果を挙げているかをチェックする、モニタリングを補完するものです。これらによって、あなたのシステムの信頼性と効果の程度についての判断を行います。

実績から学ぶことが必要です。安全衛生マネジメントへのあなたの取り組みを向上させるには、監査で得られた情報と達成の程度を評価した結果とを組み合わせる活用することが必要です。つぎの事項に特に注意しながら、あなたの安全衛生方針の効果を検討してください。

- ・安全衛生を達成する基準（法規制を含む）についての適合の程度
- ・基準がないか、あっても適当な基準でない部分
- ・所定期間内に目標を達成した程度

安全衛生のマネジメント

成功するための5つのステップについて

今、国際的に安全衛生をリードしている英国のHSE（安全衛生庁）は、安全衛生に関する多彩かつ膨大な情報の供給者でもある。これらの資料については、<http://www.hsebooks.co.uk/homepage.html>を検索するか、（このサイトからの購入もできる。）

<http://www.hse.gov.uk/sources/index.htm>に載っている出版物リスト（87ページに及ぶpdfファイル）によって、全容を把握しておくことをお勧めする。

これらの出版物の中で、HPから入手できる資料の「無料リーフレット」は、事業者や作業者を対象としてわかりやすくまとめられた、特に興味を惹く資料である。英国国内からの請求なら無料で送られるのだが、日本からでも、カラープリンターを使えば元の姿で入手することができる。

<http://www.hse.gov.uk/pubns/hazards.htm>にこの無料リーフレットの目次があるが、この安全衛生マネジメントの項に載っている「5ステップの安全衛生マネジメント」（原題 Managing health and safety -Five steps to success (INDG275)）の新版を紹介し、筆者の若干の感想をつけ加える。

関連する資料

1991年に初版、1997年に第二版が刊行された「成功する安全衛生マネジメント」原題 Successful health and safety management (HSG65) は、安全衛生マネジメントを理解するためにぜひ読んでおくことが必要な資料とされており、HSEの刊行物の中でもベストセラーとなっているという。94ページにも及ぶ資料である。この簡略版として作成されたのがこのINDG275であって、昨年12月に改訂版が刊行された。事業者を対象として簡潔に整理がされているので、HSEが安全衛生マネジメントについてどのように考えているのか、その片鱗をうかがうのに都合

